

おめでとう! 日本遺産認定!

Congrats!
Japanese heritage certification!

淡路島の古代の魅力を
届ける ニュースペーパー

Vol.1

2016年に「日本遺産」として認定された淡路島の歴史ストーリー。

今年は、淡路島に暮らす皆さんに「日本遺産」の魅力をもっと身近に感じてもらうための集いの場を7月から毎月開催。
11月18日(土)に日本遺産フェスティバルの開催が決まるなど、

盛り上がりを見せる「淡路島 日本遺産」から、
ますます目が外せません!

12ヶ所の文化財が認定

南あわじ市

「三原志知市民交流センター」や「南あわじ市中央公民館」で開催。吉備国際大学の学生さん、お土産物屋さん、瓦職人など、毎回ディスカッションし、前向きなアイデアがたくさん生まれています。



8ヶ所の文化財が認定

洲本市

「やまて会館」で7~9月まで、社会福祉協議会や城下町洲本再生委員会の皆さんを中心に開催。数十年前まで使われていた淡路人形浄瑠璃の焼き印を、商店街で復活させる取り組みが誕生しています。



11ヶ所の文化財が認定

淡路市

7~9月まで「国生み神楽ミュージアム」で開催。伊弉諾神宮での創成国生み神楽の練習終わりの皆さん、線香や呉服に関わる皆さんなどが多数参加。新たに兵庫県立淡路高等学校とのコラボも始まっています。



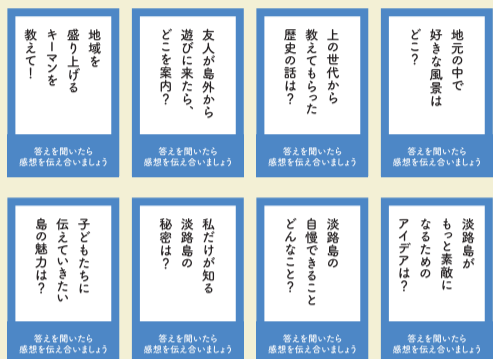


3市のいろいろなところで 日本遺産を考える場が生まれています。

7月から毎月一回、淡路市、洲本市、南あわじ市の3つの場所で、市民参加型として開催してきた「淡路まちづくりカフェ」。毎回、たくさんの市民の皆さんが集まり、日本遺産に選ばれた古代の文化財について学び、その面白さをもっと多くの市民に伝えるため、みんなで意見交換をしながら考えてきました！11月18日(土)の「日本遺産フェスティバル」では、その成果が約15のブースで発表されます。

まちづくりカフェ

淡路島 日本遺産は淡路島全体で文化庁に選ばれたもの。3市に歴史の楽しさを感じさせてくれる文化財があるからこそ、「まちづくりカフェ」も3市で、しかも同時進行で考えました！



●初めての「まちづくりカフェ」では、遊びながら自己紹介ができるゲームを実施しました。●松帆銅鐸の出土から注目が集まっている2000年前の淡路島。海を渡り、新しい文化を取り入れてきた海人(あま)族の存在にビックリしつつ、その誇らしい存在を子どもたちに伝えるための体験プログラムのアイデアが数多く生まれています。●アイデアをどんどん活性化するためにヒントが書かれたカードが準備され、それぞれの小さな思い付きが、みんなの意見とともに形になってきます。●日本遺産フェスティバルでは、カフェで生まれたアイデアが出店ブースとして登場します。



まちづくりカフェ

淡路市

「国生み神楽ミュージアム」で開催。地域の方をはじめ、伊弉諾神宮での創生国生み神楽を練習中の中学生も参加をしてくださいました！

洲本市

「やまて会館」で開催。洲本市城下町再生委員会の皆さんを中心に、商店街活性と日本遺産の連携方法について話し合いました！

南あわじ市

「三原志知市民交流センター」「中央公民館」で開催。地域活性の担い手、瓦やお土産屋さんが参加し、体験プログラムを考案中！



レトロこみち

数十年前の人形浄瑠璃の焼き印を発見。昔ながらの「焼き印付き」大判焼きを復活させようと商店街のメンバーが活動しています。



県立淡路高等学校

県政150年に向け、高校生が淡路島産の小麦粉や海苔を使った「国生みプレッセル」を施策中。まちカフェはデザイン面でコラボ。

EVENT GUIDE イベントガイド

「御食国」の歴史を踏まえ、ユネスコ無形文化遺産にも登録された「和食」文化を知って、食べて、「御食国」の美味しさを感じてください。

日本遺産フェスティバルと同時開催

「和食」を愉しむ2日間! 御食国 和食の祭典

日時 2017年 11月18日(土)・19日(日) 11:00~16:30

場所 洲本市文化体育館

入場料等 入場無料、事前申込不要

主催 御食国・和食の祭典in 淡路島実行委員会 (兵庫県、京都府、福井県、三重県、洲本市、南あわじ市、淡路市、淡路島観光協会)

お問い合わせ 兵庫県淡路県民局 TEL:0799-26-2085

御食国知事サミット

4府県知事によるリレートーク、御食国・和食文化「淡路」宣言
井戸 敏三 兵庫県知事、西川 一誠 福井県知事、渡邊 信一郎 三重県副知事、山田 啓二 京都府知事

記念シンポジウム

①基調講演

「関西の和食の魅力」

村田 吉弘 氏 (株式会社菊乃井代表取締役社長、日本料理アカデミー理事長)



②パネルディスカッション

「現代に繋がる御食国～食を通じた観光振興～」

〔コーディネーター〕

田辺 真人 氏 (園田学園女子大学名誉教授)

〔パネリスト〕

淡路:前田 若男 氏 (淡路島観光協会理事、福良漁業協同組合組合長)

若狭:奥井 隆 氏 (株式会社奥井海生堂代表取締役社長、福井ガストロノミー協会会長)

志摩:村林 新吾 氏 (三重県立相可高等学校教諭)

京都:村田 吉弘 氏 (株式会社菊乃井代表取締役社長、日本料理アカデミー理事長)

御食国和食文化の体験コーナー

日時 11月18日(土)・19日(日) 11:00~16:30

場所 会議室1A、ロビー、メインアリーナ

○日本酒等の試飲・販売

○京都老舗料亭4店の出汁の味わい体験 (菊乃井、たん熊北店、山ばな平八茶屋、一子相伝なむら)

○抹茶・和菓子の味わい体験

食のブランド「淡路島」オータムメッセ2017

日時 11月18日(土)・19日(日) 10:00~16:30

場所 西側駐車場

主催 食のブランド「淡路島」推進協議会

内容 淡路島を食のブランドとして島内外に情報発信するために、淡路島の「おいしいもの」を集めた食のイベント

「御食国(みけつくに)」とは、古代、皇室や朝廷にそれぞれの地域の特徴ある豊かな食材を納めた国のことで、志摩国、若狭国、淡路国が該当すると考えられています。平安時代に編集された「延喜式」には、淡路国は新鮮な海産物を10日ごとに納めるよう定められていたことが記されています。

2017年10月初版発行 発行:淡路島 日本遺産委員会

<http://kuniymi-awaji.jp/>



洲本市



12 慶野銅鐸
所蔵場所：淡路文化史料館



16 旧城内遺跡
所蔵場所：淡路文化史料館



13 ニッ石戎ノ前遺跡
及び出土品
見学不可



17 コヤダニ古墳出土
三角縁神獣鏡
所蔵場所：淡路文化史料館



14 下内膳遺跡
所蔵場所：淡路文化史料館



18 先山千光寺
洲本市上内膳2132



15 岡の谷1号墳
洲本市五色町都志1087
ウェルネスパーク五色内



19 紀淡海峡と
由良・成ヶ島
洲本市由良町由良

南あわじ市



20 中川原銅鐸
所蔵場所：玉青館(レプリカ展示)



24 古津路銅剣
所蔵場所：玉青館(写真パネル展示)



21 日光寺銅鐸
所蔵場所：玉青館(レプリカ展示)



25 沖ノ島古墳群と棒状石製品
南あわじ市阿部賀(伊勢漁港沖)
棒状石製品は玉青館所蔵(パネル展示)



22 銅鐸出土地 中の御堂
南あわじ市松帆慶野552-2



26 木戸原遺跡と出土遺物
所蔵場所：玉青館



23 松帆銅鐸
所蔵場所：玉青館(写真パネル展示)



27 大和国魂神社
南あわじ市榎列上幅多857



28 鳴門海峡とうずしお
南あわじ市福良港 うずしおドームないろ館



29 淡路人形浄瑠璃
南あわじ市福良甲1528-1



30 自凝島神社と
国生み神話伝承地
南あわじ市榎列下幅多415



31 沼島
南あわじ市沼島

国生みゆかりの先山千光寺や海人の時代から、海との繋がりをもち続ける紀淡海峡と由良・成ヶ島など、日本遺産の世界を感じられる文化財が数多く存在しています。

島内最大の三原平野を有し、淡路国分寺や国府・中世守護所等各時代の中核だったと推測できる遺跡が数多く点在。淡路島の中心であったことがわかります。

古代を味わう！古代に触れる！ 淡路島 日本遺産のすべてがわかる！

淡路島 日本遺産の魅力をもっと市民に伝えたいと7月からスタートした「まちづくりカフェ」から、たくさんの方のアイデアが生まれました。淡路島の3市の市民がもっと多くの方に「古代の魅力」を伝えるために考えた、魅力いっぱいブースに是非、お立ち寄りください。



洲本市 レトロこみちで 浄瑠璃焼き印、復活



数十年前に消えてしまった人形浄瑠璃の焼き印を発見！大復活した人形浄瑠璃の大判焼きが登場します。

洲本市 東田裕美/洲本市 写経ならぬ写古事記で 初めての体験！



現存する日本最古の歴史書『古事記』。書道師範の東田氏が冒頭の「国生み」部分を写経風にした。

洲本市 日洋堂/洲本市 スイーツの匠が 銅鏡チョコを再現！



王様や貴族だけの高貴な食べものだったカカオと、権威の象徴である銅鏡のコラボレーション!!

洲本市 福祉施設/洲本市 洲本の3つの福祉施設が 生んだ新スイーツBOX



福祉施設のクッキーやスイーツを包む、新しいLINEスタンプをデザインしたパッケージが誕生しました!

淡路市 さら98/淡路市 淡路島 日本遺産が かわいいLINEスタンプに!



日本遺産に選ばれた文化財が、クリエイターの力で「ダジャレ」を組合せたLINEスタンプとして登場。

淡路市 和紙工房 松鹿/淡路市 島内で原材料から育てた 天然素材の和紙に触れる



1000年以上昔の製法を研究し、復活させた「和紙工房 松鹿」の天然素材の和紙の商品をどうぞ。

南あわじ市 KEKKOI/南あわじ市 松帆銅鐸がキュートな キャラのクッキーに!



南あわじ市でうどん&クッキーを提供する「KEKKOI」。銅鐸や淡路島をモチーフにしたクッキーが登場。

南あわじ市 ミレット マルシェソラ/南あわじ市 雑穀マイスターが 手がける黒米おはぎ



南あわじ市の「ソラ」が、古代から残る黒米の美味しさを存分に引き出した新作おはぎの登場です。

南あわじ市 淡路島牛乳/南あわじ市 塩づくりの島ならではの 藻塩プリンとシューアイス



古代には塩作りに長けた淡路島だからこそ、南あわじ市の淡路島牛乳が藻塩を使った新商品を販売。

南あわじ市 本庄酒造/南あわじ市 包むプロに教わる 風呂敷の包み方体験



酒造「南長」さんが風呂敷を包むマイスターに!?銅鐸の形をした新しい包み方を体験しましょう。

同時開催 レトロこみちでの 昔遊び体験イベント

フェスと連動してレトロこみちでは、数十年前に復活した人形浄瑠璃の焼き印をつかった大判焼きやさまざまな遊びやフードがお得に提供されます。

緊急開催 淡路島 日本遺産公認! ボランティアガイド教科書が完成! ボランティアガイドを目指す方に向けて、説明会を開催します!

開始:16時 場所:2階 会議室(予定)

公式のボランティアガイド教科書が完成しました。今後は、この教科書を元にボランティアガイドの認定試験が実施されるなど、日本遺産の観光促進がますます進んでいきます。そして、18日16時から、教科書の内容や認定試験の詳細を多くの皆さんにお伝えする説明会を開催します。日本遺産フェスティバルを楽しんだ後に、ぜひ足をお運びください。

来場者には 無料で進呈



- FOOD / 食べ物
- SHOP / 物販
- WORKSHOP / 体験
- EXHIBITION / 展示

国生みの島・淡路

古代国家を支えた海人の営み

淡路島 日本遺産の文化財を全て紹介!

平成28年4月25日(火)、洲本市・南あわじ市・淡路市が申請した「古事記」の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」古代国家を支えた海人の営み」が、文化庁の平成28年度の「日本遺産」に認定されました。

日本遺産とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産(Japan Heritage)」として認定し、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群の総合的な活用をはかるものです。

あなたが暮らす地域の近くにある日本遺産の文化財、どのくらい知っていますか?

淡路市

国生み神話ゆかりの伝承地をはじめ、島にいち早く鉄器文化を取り入れ、塩作りの技術革新にも取り組んだ「海人」と呼ばれた海の民の営みが残されています。



9 御井の清水
淡路市佐野小井



5 畑田遺跡の棒状石製品
見学不可



1 五斗長垣内遺跡と出土品
淡路市黒谷1395-3



10 明石海峡と松帆の浦
淡路市岩屋



6 貴船神社遺跡
淡路市野島平林
緑の道しるべ大川公園



2 塩壺西遺跡
見学不可



11 絵島
淡路市岩屋884-4



7 引野遺跡
見学不可



3 舟木遺跡
見学不可



8 伊弉諾神宮
淡路市多賀740



4 石の寝屋古墳群
淡路市岩屋茂谷2009-3(見学不可)



JAPANESE HERITAGE FESTIVAL

日本遺産 フェスティバル

2017年11月18日(土)

11:00 ~ 16:30

in 洲本市文化体育館

古代を味わう! 古代に触れる!
淡路島 日本遺産のすべてがわかる!

日本遺産の認定から1年半。より多くの皆さんに古代の歴史や淡路島の日本遺産の歴史を感じてもらえる「日本遺産フェスティバル」が開催されることになりました。今回は、日本遺産フェスのことを詳しくお伝えします。



民俗学者・旅の文化研究所所長 神崎さんが語る淡路島の魅力!
「神人相嘗(あいなめ)、人人共食(きょうしょく)〜ハレの飲食文化の伝統〜」と題し、淡路島・日本遺産の魅力を神崎宣武さんがお話されます。



大歳久美子さんと国生み創生神楽、夢のコラボレーション
大歳さんの琴の演奏に合わせて、淡路島の中学生がこれまで10年間も積み重ねてきた最も古い伝承「国生み」を舞う。大迫力の演舞に魅了されます。

主催:
淡路島 日本遺産委員会
構成団体:
淡路市・淡路市教育委員会・洲本市・洲本市教育委員会・南あわじ市・南あわじ市教育委員会・淡路県民局・(一財)淡路島くにうみ協会・(一社)淡路島観光協会・(一社)淡路青年会議所